

**ispace、月面への再挑戦を応援する新株主優待制度を実施**  
株主優待限定 RESILIENCE ランダーデザインのオリジナル T シャツおよび  
TENACIOUS ローバーの精巧なペーパークラフトを提供

株式会社 ispace（東京都中央区、代表取締役：袴田武史、以下 ispace）（証券コード 9348）は、2025年1月15日に米国・ケネディー宇宙センターから打ち上げられた Mission 2 “SMBC x HAKUTO-R VENTURE MOON”（以下ミッション2）に始まる、ispaceの月面への再挑戦を応援いただくことを目的とした新たな株主優待制度を実施することを発表しましたので、お知らせします。



新株主優待制度で対象株主様へ提供される、限定デザインのオリジナル T シャツ（案）

※T シャツデザインは、今後変更される可能性があります。

※サイズはワンサイズ（L）のみとなります。

本制度は、日頃よりご声援・ご支援を頂いている株主の皆さまへの感謝の気持ちに加え、ミッション2以降にも続く月面への挑戦をより身近に感じていただく機会を提供することを企図しております。

■株主優待制度の概要

・対象：

2025年3月末時点の株主名簿に記載または記録された当社株式5単元（500株）以上を保有されている株主様

・優待内容：

保有株式数	優待品
500 株以上	① TENACIOUS ローバーのペーパークラフト
1,000 株以上	② 新株主優待限定オリジナルTシャツ

※1,000 株以上保有の株主様には、①及び②の優待品を、500 株以上、1,000 株未満保有の株主様には、①の優待品を提供いたします

① TENACIOUS ローバーのペーパークラフト

TENACIOUS ローバーは、ispace の欧州法人である ispace EUROPE が独自に開発した小型月面探査車です。ミッション2で RESILIENCE ランダーが月面に着陸した後、ローバーは月面展開され、新たな経済圏構築の第一歩につながる月面の自律走行、搭載カメラでの撮影、ムーンハウスのペイロード展開、および月のレゴリス採取などの月面探査を行います。本ペーパークラフトは、非常に精巧な作りとなっており、初の月面走行に挑戦するローバーを想像しながら組み立ていただけます！



TENACIOUS ローバーのペーパークラフト完成イメージ写真  
※月面探査プログラム「HAKUTO-R」のメディアパートナーである小学館刊「小学8年生」2024年11月号付録の改訂版を制作予定です。

② 新株主優待限定オリジナルTシャツ

ispace の月面への再挑戦を応援するためのオリジナルTシャツは、前面に ispace ロゴを、背面には RESILIENCE ランダーを配した精巧なデザインで、他では入手いただけないTシャツとなります。今回の優待限定で、対象株主様にご提供いたします。

・提供時期：

2025 年 6 月中を予定

・留意事項

本優待品は 2025 年 3 月末時点の株主名簿情報をもとに配送を予定しています。優待品をご希望の方は、権利付き最終日までに対象となる保有株式数の条件を満たしている必要があ

---

ります。また、引っ越し等により住所変更がある場合、証券会社にて必要な手続きを実施いただけますよう、よろしく願いいたします。

■ 株式会社 ispace 取締役 CFO 事業統括エグゼクティブ 野崎順平のコメント

「ispace の 2 回目の月面着陸挑戦は、成功すれば日本およびアジアにおける民間初の月面着陸となります。弊社ビジョンに共感し信じ続けてくださる株主の皆様、今回の優待制度を通じて月面着陸および探査ミッションへの理解を深めていただき、ぜひ一緒に挑戦を見守っていただきたいと思います。着陸挑戦まで、引き続き綿密に準備を進めてまいります。」

ispace は、日・米・欧の 3 法人でそれぞれの地域の文化や多様性を活かしながら、1 つの統合的なグローバル企業として宇宙開発を進めてまいりました。2025 年 1 月 15 日に日本法人が主導するミッション 2 の打ち上げを完了、続いて 2026 年には米国法人が主導するミッション 3 を順次実行していく計画です。また、2027 年には、現在日本で開発中のシリーズ 3 ランダー（仮称）を用いたミッション 4（旧ミッション 6）を予定しています。世界中の政府、企業、教育機関からの高まる需要に応えるため、ispace はミッション 3 およびそれ以降のミッションのペイロードサービス契約とデータサービスを提供してまいります。

■ 株式会社 ispace (<https://ispace-inc.com/jpn/>)について

「Expand our planet. Expand our future. ~人類の生活圏を宇宙に広げ、持続性のある世界へ~」をビジョンに掲げ、月面資源開発に取り組んでいる宇宙スタートアップ企業。日本、ルクセンブルク、アメリカの 3 拠点で活動し、現在約 300 名のスタッフが在籍。2010 年に設立し、Google Lunar XPRIZE レースの最終選考に残った 5 チームのうちの 1 チームである「HAKUTO」を運営した。月への高頻度かつ低コストの輸送サービスを提供することを目的とした小型のランダー（月着陸船）と、月探査用のローバー（月面探査車）を開発。民間企業が月でビジネスを行うためのゲートウェイとなることを目指し、月市場への参入をサポートするための月データビジネスコンセプトの立ち上げも行う。2022 年 12 月 11 日には SpaceX の Falcon 9 を使用し、同社初となるミッション 1 のランダーの打ち上げを完了。続くミッション 2 は 2025 年 1 月 15 日に打ち上げを完了し、ミッション 3 は 2026 年<sup>†</sup>、ミッション 4（旧ミッション 6）は 2027 年<sup>‡</sup>に打ち上げを行う予定。

ミッション 1 の目的は、ランダーの設計および技術の検証と、月面輸送サービスと月面データサービスの提供という事業モデルの検証および強化であり、ミッション 1 マイルストーンの 10 段階の内 Success8 まで成功を収めることができ、Success9 中においても、着陸シーケンス中のデータも含め月面着陸ミッションを実現する上での貴重なデータやノウハウなどを獲得することに成功。ミッション 1 で得られたデータやノウハウは、後続するミッション 2 へフィードバックされる予定。更にミッション 3 では、より精度を高めた月面輸送サービスの提供によって NASA が行う「アルテミス計画」にも貢献する計画。

---

<sup>†</sup> 2025 年 2 月時点の想定

<sup>‡</sup> 2025 年 2 月時点の想定